

平成 20 年 11 月 15 日

北関東フォーラム

於：シムックス

中斎塾 北関東フォーラム

平成 20 年 第 10 回講話

今日はまず、普段と違う質問を致します。

「昨日一日、誰かに対して有難うと言った方はおられますか」

(・・・沢山手が挙がる)

「では、誰かから有難うと言われた方はどれくらいおられますか」

(・・・多少減る)

私は毎晩、「今日は嘘をつかなかったかな、良い日だったかな、有難うと言ったかな。運動をしたかな、明日は良い日だったと思えたかな」と5つの自問自答をして眠るようにしていますが、その中でずっと「有難う」と言っているだけでは物足りなくなりました。有難うと言って貰えるように努力してみようと思っていると、不思議に言って貰えるのです。「有難う」と言ったり言われたりするというのは、身体に良いですね。おまけに笑顔も付いてきますから精神衛生上良い。

では恒例の質問をします。

「昨日一日、嘘をつかなかった方は手を挙げて下さい」

(・・・沢山手が挙がる)

有難うございます。嘘をつかないのはなかなか難しいですね。年金問題一つ取り上げてても日本の国自体が嘘を付きまくっていますから、国民が嘘をつかないというのは、かなり努力を要します。

もう一つお聞きします。

昨日眠る時に、「今日一日、実に良い日だったと思って眠れた方は手を挙げて下さい」

(・・・沢山手が挙がる)

嫌な事があっても、最後に一つ良い事があればすべて良い事になります。

「昨日一日、目先の欲につられて動いてしまった方はおられますか」

(・・・一人も手が挙がらない)

長期的展望に立って行動しているということですから、非常に結構です。素晴らしい判

断力をお持ちですね。

ちなみに行動する時に、判断の材料は3つあります。何か問題があったら・・・、本質は何かを考える。大局的に、色々な人の立場で見る。過去の歴史を調べる。判断の三原則を練習されるとよろしいでしょう。

本日の心に残る言葉は、佐藤一斎の言志四録です。

「君子は自ら慊し、小人は則ち自ら欺く。君子は自ら彊め、小人は則ち自ら棄つ。上達と下達とは一つの自字に落在す。」

君子は自ら慊し、小人は則ち自ら欺く・・・君子（立派な人間）は、素晴らしいと思われるようなことをやっても、満足せずにもう少し努力をしなければいけないと自ら謙遜する。ところが小人は良心を欺いて自己満足に耽る。

君子は自ら彊め、小人は則ち自ら棄つ・・・君子は諦めないで最後まで努力する。肝っ玉の小さな人物であれば、途中で諦めてしまって、投げ出してしまう。

心に残る言葉は、日常の生活や社会の情勢を判断する時に役立たせて戴きたいと思いません。

例えば、麻生首相は定額給付金を配れば国民が喜ぶだろうと思っていますが、もし君子であれば、皆さんに満足して貰えるように色々な角度から努力に努力を重ねるはずですし、自治体の判断に任せるなどと丸投げはしません。おのずと麻生首相が君子であるか否かが分かります。

私は来月、足利倫理法人会で「人生活学」と題して講演を致します。論語と付き合う方法についてお話しするつもりです。本日は足利倫理法人会の会長さんが出席されていますので、内容を少し申します。

悟道会という集まりがございまして、その中で、「利によりて行なえば、怨み多し」ということをずっと学んでいます。

日常生活の中で、凄く儲かりそうだという話が突然目の前にぶら下がって来たりします。すぐそれに飛びつくか、それともちょっと待てと思えるか・・・。「利によりて行なえば、怨み多し」・・・目の前の欲につられて実行すると、後でとんでもない厄介事が返って来るといふ事です。この言葉が頭に浮かぶと、爽やかな気持ちで止められます。渋澤栄一さんが論語を真剣に読んでいく中で、自分自身の最大の規矩準繩・戒めにした言葉です。何

か問題が起きた時に、この言葉が即座に浮かんでくるかどうかは鍵だと思います。

論語と付き合う時には、最初はまず読んでみることです。第二段階は、読んでいる中で自分が気に入る言葉が見つかる。第三段階は、気に入った言葉が映像・イメージで見えてきます。第四段階になると、自分が困った時にその言葉やイメージが浮かんでくる。そこまで来たら、その論語の中身は何なのだろうかと気になって読み始めます。ですから論語に興味を持ってから勉強を始めれば良いのです。最初は意味など関係なく読んで、自分のリズムが出来れば良い。そして気に入った言葉が見つければしめたものです。それを現実の世界に役立たせれば良いのです。

では、東京フォーラムでも話をしましたので、干支に関する話を申します。私が干支に関する話をし始めたのは、平成 18 年からです。

平成 18 年は丙戌（へいじゅつ・ひのえいぬ）です。丙は台座で、戌はまさかりです。偽装問題で色々な会社のトップがテレビで頭を下げている報道が沢山ありました。政治家・官僚・大企業のトップが深々と頭を下げて、首の飛ぶ年が平成 18 年である、と申しました。

翌年の平成 19 年は、それが続くと申しました。丁亥（ていがい・ひのとい）です。丁は采の目、亥は爆発です。新旧両方の勢力がぶつかり合う状況です。昨年の首の飛び方はまだまだ足りない。だから今年をもっともっと政治家の首が飛ぶし、官僚も企業のトップも首が飛ぶと言いました。実際この時は、安倍首相が辞任しましたし、守屋前事務次官の首が飛びました。

今年、平成 20 年は戊子（ぼし・つちのえね）です。季刊誌「知足」平成 20 年 1 月 1 日号に書きました。戊は縫れるという意味で、子は鼠です。今年は国内外で色々な問題がどんどん発生して、それが鼠算的に広がる。それはサブプライムローンの問題であるとか地球温暖化の問題、水の問題、テロの問題・・・と書きました。

サブプライムローンの問題が出ると書きましたが、正直ここまで酷くなるとは予測できませんでした。アメリカの資本主義の根幹が腐っているから、それにメスをたまたま入れた、その切り口になったのがサブプライムローンであると思っています。

今年縫れに縫れたものが鼠算的に広がる年だと言いました。現実には世界各国に広がっています。

来年、平成 21 年は、己丑（きちゅう・つちのとうし）です。己は長い糸が複雑に絡まりあって、出口が見えなくなる。丑はそれを真っ直ぐに伸ばそうという努力を意味しますが、来年は今ある問題は解決しません。複雑に絡まり合っ出口が見えない状況になる。来年は、何とか生き延びる事がポイントになって、発展しようという事は難しいだろうと思っています。どうにもならない事で、政府の打つ手も企業の打つ手も後手後手に回って、小手先の対策になる。

出口の見えない不況のトンネルに入り、何も解決しないまま一年が過ぎるだろうと思っています。ただし良い種も少しは蒔かれる。けれども芽は出ない。これが来年です。

再来年、平成 22 年は庚寅（こういん・きのえとら）です。もしかしてこの人は役に立つかなというニューリーダーが出て来ます。寅はニューリーダーの出現する事を意味します。オバマさんの言う「変革」といったものが、世に出てくると思います。「君子虎変す」という言葉があります。虎は夏から冬にかけて毛が生え変わって、非常に鮮明な綺麗な色になるのだそうです。ただこの年は、その期待感だけです。一変に景気は良くなりません。

期待した分だけ、翌年の 23 年は酷くて辛い年になります。辛卯（しんぼう・かのとう）は辛いという文字ですから、これが今回の経済不況のどん底だと思っています。

その次の年、平成 24 年の壬辰（じんしん・みずのえたつ）から、急激に景気その他が良くなって来る。ですからここまでは我慢です。我慢して良くなる時の対応を一所懸命やっておくが良いでしょう。

では、この説明の裏付けになる話を致します。

今、気になっているニュースはありますか。

金融不安・食の安全・新型インフルエンザ・首相の管理能力・日本の借金・田母神前空幕長の問題・・・

この中で一番根っこになっているのは、サブプライムローンです。

サブプライムローンでアメリカは坂道を転げ落ち初めました。日本の借金は目ではありません。サブプライムローンはご存知のように、アメリカの低所得者層向けの住宅ローンです。最初は金利が安いのですが、何年か経つと払えるはずのない金利に上昇します。住宅が値上がりする事が前提でしたが、途中でそれが止ってしまったので、どんどん家を出

る人達が増えたわけです。アメリカの住宅ローンは、払えなくなって家を投げ出してしまえば請求されません。後始末は売った人がするわけです。結果、日本で言う所の住宅金融公社 2 社が国の管理下におかれました。更に銀行が 2 行破綻しました。

リーマンブラザーズが 66 兆円の負債で破産をし、結果、世界同時株安が発生しました。そのすぐ後に、A I G の破綻が決定的になりました。A I G が潰れたら下手をすると恐慌になると判断したからこそ、アメリカ政府は救済したわけです。A I G の救済にあたっては 15 兆円注ぎ込まれました。元々は 8 億くらいのお金を入れれば助かると考えていましたが、ほんの僅かの間にお金を使い果たして、倍近くの 15 兆円を使ってしまったのです。A I G は世界最大の保険会社ですから、ここが潰れたらとんでもない事になります。そこで金融安定化法を作って、坂道を一気に転げ落ちてゆく雪だるまにストップをかけました。しかし無理やりストップをかけたのですから、どうにもならない歪みが世界各国に広がっていったわけです。

アメリカが自分の失敗で世界をとんでもない状況に陥れたのですが、自分のお尻に火がついたので、世界各国からドルを引き上げてしまった。その結果、よその国が国家レベルで問題が起きています。国が破綻する危機です。アイスランド・ウクライナ・ハンガリー・セルビア・パキスタンが I M F に借金を申し込んでいます。ヨーロッパ各国も主要銀行が潰れかけているので国有化し、何とか凌いでいるような状況です。アメリカは協調融資を促していますが、何という事はない、アメリカが自分で火をつけて逃げてしまった後を、それぞれの国が自腹をきって自分の国が潰れないように努力をしている現状です。

世界各国に飛び火して不況がどんどん進んでいます。アメリカはこれから深刻な不況に陥るでしょう。私が以前、インフレとデフレのよじれ現象だと申しましたが、それが更に加速すると踏んでいます。

日本には多少影響が来ていますが、まだ津波は小さい。昨日の新聞では、厚生労働省が公表した数字で、10 月 1 ヶ月間の失業者は 1 万人以上だったそうです。やはりただ事ではありません。又、大田区の庁舎に金融保証制度相談の窓口を設けた所、希望者が殺到して、オープンして 1 時間で閉めたという記事もありました。不況が確実に始まったなと実感しました。しかしまだ小さい。今年の暮れは、年が越せない企業が続出するだろうと思います。

アメリカはオバマさんが新大統領に決まりました。経済対策に力を入れていると言っていますが、どういう手を打つか。特に A I G の対応をどうするかによって、世界の不況がかなり色が変わると思っています。これによってアメリカ発金融危機がどの程度の広がりを見せるかが、ある程度見えるだろうと思っています。

世界各国にこれだけ広がったものは、現段階では経済危機とされています。経済危機はまだ、スーパーやコンビニに食べものが沢山あります。ただ値段が上がるだけです。来年はインフレとデフレのよじれ現象がどんどん進みます。家庭で考えれば、日常生活用品は乱高下しながらどんどん上がるり、収入はゼロになるか、又はどんどん減ってくる。もしもA I Gが破綻する状況になった場合は、経済恐慌に入ります。そうなるとテロが相当横行するでしょう。スーパーやコンビニには、当然食べものがなくなりますから、倉庫を焼討ちしたり襲撃したりして食べもの・飲み物を確保しに行くという状況が生まれる。来年は日本の何処かでこういった状況が発生する可能性があると思っています。経済恐慌に陥る可能性があります。

日本は借金体質になっています。今回も国債が 30 兆円の枠を超すと出ていますが、日本の借金は止まる所を知りません。かつての状況を見ると、戦争で負けた時に止っています。ですから今回も、戦争して止ったと時と同じような状況が出現しない限り、借金は止らない。増え続けると思います。金融不安は、何処まで続くか分かりません。経済危機から経済恐慌に移行する危険性がかなり高いでしょう。

サブプライムローンという毒饅頭をアメリカ国民が食べて、それで皆食あたりを起こしました。それを細かく刻んで世界各国に売ったのですから、世界中が体力を落としました。体力を落とした所に、伝染病が出たわけです。目に見えないお金に関する伝染病が、世界各国に広がった。これは資本主義・社会主義共に行き詰っている事を意味します。

世界の問題を個別に見てみましょう。

食の安全・・・儲けさえすれば良いという事で、人が死んでもかまわない状況に来ているのだから、安心できません。結局のところ、誰が作ったか分かるものを食べるしかない。地域の食というものに回帰していると思います。

新型インフルエンザ・・・これは 100% 起きると信じています。最近の情報ですと、自分の会社の中に医者を抱え、タミフルをかなり仕入れしている大企業があるそうです。大企業は深く静かに、新型インフルエンザ対策を進めています。

ちなみにシムックスでは、新型インフルエンザ対策として、手洗いうがいの励行をどれだけ真剣に行っているか、アンケート調査を 3 ヶ月に 1 回ずつ行い、チェックを始めました。ウィルスを殺すマスクは、既に 2,000 家庭分用意してあります。今、進めているのは、それぞれの顧客に対して、実際に新型インフルエンザが発生した場合の契約の見直しをす

る動きをしています。

首相の管理能力・・・これはどう見てもありませんね。こういう状況ですから、世界各国が同時不況・同時経済危機でどんどん進んでいるので、どこもその泥沼から抜け出せない。暗く長いトンネルに今入ったのです。FRBの議長は、「100年に一度の金融災害」と言ったのを、麻生首相がそのままって「100年に一度の金融災害・暴風雨」という言い方をしています。100年に一度の金融災害が、1年や2年で方が付く訳がありません。

ここら辺を踏まえて来年の己丑を考えると、安岡干支学は60年周期でものを見ていますから、その視点では、60数年前の日本はまともにご飯が食べられない時代でした。もう一回それが来ると踏んでいます。来年は今の問題が複雑に絡まりあって、解決などされない。どうにもならない長く暗いトンネル、不況が続きます。

こういう中で生き延びていくには、我々が勉強している知足、ほどほどで良しとする気持ち・習慣を身に付ければ、確実に生き延びます。そうすれば明るい未来が、平成24年くらいから開き始めると思っています。

以上で本日の北関東フォーラムを終了致します。有難うございました。